

リスクマネジメント — 家庭内事故を考える —

院長

9月1日から30日までは防災月間ということ、皆さんは御存知でしょうか。9月1日のニュースには、あちこちで行われる防災訓練の様子が放送されます。7月31日にふじみ野市の市営プールで小学2年生の女子の死亡事故、シュレッダーによる指の切断事故など、悲惨な事故が後を絶ちません。事故は起ってから大きな社会問題になりますが、本来は防止対策が重要です。

今回は、聞きなれないリスクマネジメントを考えてみます。リスクマネジメントを直訳すると、「危険管理」となります。何となくわかるような、わからないような言葉ですが、ここでは「予想外の出来事を防止するための取り組み」としておきましょう。

今回のプールの事故に限らず、子どもたちの周囲には様々な危険が潜んでいます。以前も紹介しましたが、子どもの死亡原因では不慮の事故の割合が高いことが、大きな社会問題になっています。死亡まで至らないとしても、多くの子どもたちが被害を受けています。平成16年の人口動態統計(表1)でも、0歳児を除き、1~14歳までの死亡原因の1位は不慮の事故となっています。また、0歳児では第2位ですが148人が命を落しているのです。

不慮の事故には家庭内事故、交通事故、その他に分類されます。今回のような悲惨なプール事故や交通事故は、マスコミで数多く事件として報道されるため印象は強いのですが、実際に子どもでは家庭内の事故による死亡が多いのです。交通事故は社会的問題と認識され、様々な対応がされています。道路の整備、罰則の強化、チャイルドシートなどの安全対策、飲酒運転への啓蒙活動などにより、全年齢の死亡者は次第に減少し1万人を切るようになりました。逆に全年齢の家庭内事故による死亡者は減少傾向が見られず、子どもや老人を中心に1万人を越えています。0~4歳の不慮の事故(表2：平成15年人口動態統計)による死亡は282人で、家庭内事故213人、交通事故104人、その他65人と、

家庭内事故が多いのが特徴です。家庭内事故は報道されないことが多く、対策が不十分であることが現状です。家庭内事故の内容は年齢によって異なりますが、窒息、溺水(溺死)、墜落などがあります。項目別にみた0~14歳までの死亡数は、窒息469人、溺水193人、火災への暴露188人、転落127人(人口動態調査：3年間)となっています。家庭内事故の対策は社会的に確立されていず、対策は家庭に任されているのが現状です。

家庭内の事故を防止するには、何をしたらいいのでしょうか。リスクマネジメントとは、先にも述べたように起ってから対応するものではありません。いかにして「起るべきはずの事故」を、未然に予防するかにつきます。まず大事なことは家庭内でどのような事故が起っているかを知ること、次に起っている事故に対する対応策を考え、実際に対策を講じることです。少なくとも家庭内の事故で死亡する子どもは交通事故死より多いこと、窒息・溺水・火災・墜落が大きな原因であることを、もう一度確認してください。実は当院でもリスクマネジメントを行なっています。医療機関でも小さな間違いやミスは起ります。間違いやミスが、患者さんに影響を与えるような大きな問題に発展しないための対策です。具体的にはミスを記録に残し、対応を考え、実行に移すというもので、リスクマネジメントノートを作成して事故防止対策を行なっています。もう一つ事故が起ってからの対応も重要です。そのような意味から、『お母さんクラブ』では毎年9月に「あなたは大丈夫 こどもの救急蘇生」も開催しています。

誌面の都合で詳しい対策について触れませんが、覚えて欲しいことがあります。毎年多くのお子さんが家庭内の事故で亡くなっていること。事故防止のためにはリスクマネジメントが重要なことであり、どんな事故があるのかを知ることからはじめましょう。対策として「事故防止のためには子どもから目を離さないこと」と、どこにでも書いてあります。もちろん重要なことで疑う余地はありませんが、現実にはなかなか難しいことです。家庭内の事故は100%起りうるものと考え、対策を講じることが重要です。起ってから後悔するのが事故の特徴で、多くは保護者の責任が問われます。保護者はお子さんを失った悲しみだけでなく、自分を責めてしまうことも多々あります。保護者の責任を問うことは正しいことではありません。このような悲しい出来事を未然に防ぐことができるのが、事故防止なのです。リスクマネジメントの意識を持って、事故防止にもう一度注意を向けましょう。

9月のお知らせ

・学会参加のための休診

9月1日(金)午後~2日(土)

日本外来小児学会(横浜)、参加、発表

・栄養育児相談

毎週水曜日 午後13:30~

栄養士担当 参加無料



読者の広場

先月は夏休みと重なったこともあり、メールは8通だけでした。宮城野区のTさんからのメールを紹介します。「〇〇の停留コウガンでこども病院への紹介状を書いていただいたり、入院前の風邪の件ではお世話になり、ありがとうございました。手術も無事終わり、昨日退院しました。麻酔から覚めた後は、機嫌がかなり悪かったものの、三日間と短い入院だったので、なんとか過ごすことができました。川村先生にご報告メールをと思っていたら、〇〇がぶすまの角に手術跡を強打して、大泣き!!「キャ~(>_<)どうしよう!ガーゼに血がにじんでる気がする!今からこども病院行っても時間外だし、外科かな?川村先生に電話しよ~(半泣)」と先ほど電話してしまいました。夕方の忙しい時間にすみませんでした!中米さんの「こども病院に電話してみて。何かあったらこっちにも言ってね」のアドバイスに(そーだよなあ。よく考えれば手術した所に聞くべきだよね~)と反省!でも、それだけ私にとって身近で、いざ!というときに頭にパッと浮かぶのはかわむらクリニックなんです。ホントに感謝です。こども病院からは腫れてなければ大丈夫と言われ、行かなくても大丈夫のようでした。痛みがやっと治まってきたのに、また振り返ってしまいました。大事には(?)至らなかったもので、ちょっと一安心です。子供はつい気が緩んで、はしゃいだり暴れたりするので、しばらくは目が離せませんね。気を付けます。落ち着いたら〇〇と〇〇の予防接種に行くので、よろしく願います。とりあえずご報告とお礼まで。中米さんにもよろしくお伝え下さい!」。手術後ということもあり、ひやっとしたでしょう。いざという時「かわむらこどもクリニック」がパッと浮かぶ、こちらとしてもありがたいことです。今月号の記事は防災月間ということで掲載しましたが、頂いたメールと通じる部分もあります。調べてみて家庭内事故の多さに、改めて驚きました。家庭内事故は起こるべくして起こるので、完全に無くすことはできません。しかし、対応によって件数を減らすことや重症な事故をさけることは可能になります。もう一度子どもの周りの危険について考えて下さい。



『お母さんクラブ』9月14日(木) 福沢市民センター 14:00~「あなたは大丈夫子どもの救急蘇生」会員のみ

順位	死因	死亡数	年齢			
			0才	1~4才	5~9才	10~14才
1位	先天奇形変形及び染色体異常	174人				
2位	家庭内の不慮の事故	102人	152	230	221	148
3位	交通事故	89人	111	102	44	31
4位	悪性新生物	85人	15	89	116	76
			26	39	61	41

表1 1~4才までの死因順位と死亡数(平成15年)

表2 不慮の事故死亡総数と内訳(平成15年)

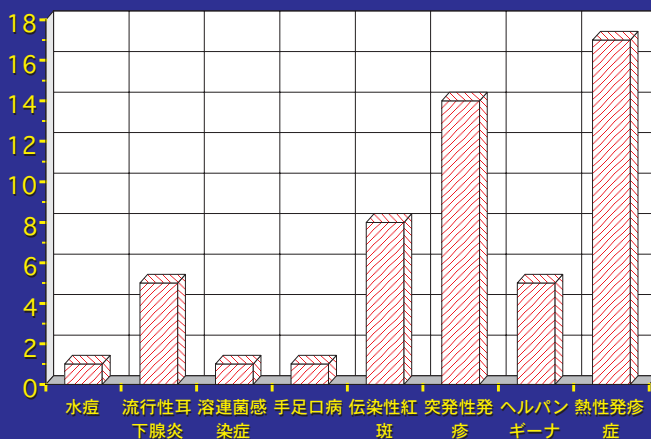
テレビ放映のお知らせ

防災月間ということもあり、子どもの家庭内事故が放映されます。院長がコメントしているので、是非ご覧ください。

東北放送テレビ 9月6日(水)
イブニングニュースTBC 18:16~

8月は毎年患者さんが一番少ない月です。幼稚園や学校が夏休みになり、伝染の機会が少なくなることが原因です。水痘はここ1年で最も少なく、わずか1名でした。おたふくも数は少なく横ばいの状態です。夏カゼの代表のヘルパンギーナは減少していますが、伝染性紅斑は少し増えています。患者さんが少ない時は、じっくり話を聞くチャンスです。チャンスを活かして下さい。

8月の感染症の集計



予防接種の変更に関するお知らせ

最近毎月掲載していますが、6月2日から予防接種法が変わりました。麻しん・風しん混合ワクチンが、次のお子さんを対象に可能になりました。

(1)生後12ヵ月~24ヵ月未満

混合ワクチンだけでなく、単抗原も可能に。

(2)小学校入学前の1年間

第1期接種者以外に、単抗原ワクチン接種者も含む。

ワクチンを受けないと入学できないとでも話ください。

経過措置接種(単抗原ワクチン): 仙台市民のみ

・生後24ヶ月~36ヶ月未満で以下に該当する方
先日の案内通り(任意接種)、費用は仙台市負担。

36ヶ月~5才未満は定期接種から外れ、接種は任意接種、費用は自己負担となります。

早めに接種するように心掛けて下さい。詳しくは院内掲示をご覧ください。不明な点はスタッフまで。

編集後記

最近はずっとですが嫌な事件が目立ちます。親殺し、子殺し、その他??。どうなっているのでしょうか。今回は、学会へ出席で発行が少し遅れてしまいました。お休みを頂いて皆さんには迷惑をお掛けしましたが、無事発表してきました。ありがとうございました。できれば、詳しく紙面で紹介したいと思います。



院長著書「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん子どもの病気」の再版にご協力を。
詳しくは かわむらこどもクリニックHP(<http://www.kodomo-clinic.or.jp>)を